



# んだじゅ通信 - Vol.14 -



山形県立新庄病院 地域医療部  
〒996-0025 新庄市若葉町12番55号  
TEL 0233-22-5525 (代表)  
FAX 0233-28-7277 (直通)  
平成30年2月発行

## 新年のあいさつ

院長 八戸 茂美



旧年中は、病院運営に多大なご支援いただきありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。

2017年、世相は「北」の一文字で象徴されましたが、医療界はいよいよ始まる新専門医制度や働き方改革、2018年度診療報酬・介護報酬同時改定をめぐる動きが大きな話題となりました。関連病院の皆さまにもご負担をおかけしました、当院の「総合診療専門医研修プログラム」も、おかげをもち二次審査承認を受け、平成30年度からの開始に向け募集を始めたことをまずもって報告させていただきます。

一方の「医師の働き方改革」は、応召義務、労働時間の定義、医療従事者確保のための財政改善面などから課題が山積で、これからますます議論の俵となるところですが、現場ではまずは労働時間の実態把握と業務効率化に努めることが肝要だと思っております。

さて、平成29年度当院は、新病院の基本計画策定作業を核に職員総参加でさまざまなことに取り組んでまいりました。新たなものとして、土曜リハビリの実施、生化学分析装置導入による測定時間と患者待ち時間の短縮、派遣型救急ワークステーションの設置、有志による新庄祭り・新庄ハーフマラソンへの救護班派遣、山形メディカルラリーの新庄開



2018 新庄病院カレンダー表紙より



催など。また、継続的取組として、「もがみ看護師確保推進ネットワーク協議会」での新任看護師の研修体制構築への支援、10周年となる認知症市民フォーラムの共催、「進路を考える学習会～めざせ医療の仕事～」への講師派遣などです。これらすべては、関係各所の皆さま方のご協力があったからこそと深謝いたします。迎えた11月11日の「もがみ地域在宅医療推進研究会」の講演会では、医療職をめざす数名の男女高校生が初めて参加してくれたのみならず、最上の医療情勢の将来について、質問の手を挙げてくれたことがなによりうれしかったことでした。これまでの成果がほんの少し花開いたと感じたひとときでもありました。

今年、新病院の基本計画は、3月末までの完成に向かいよいよ佳境に入ります。昨年末には、地元の有志による「新庄最上の医療と福祉を考える集い」が開催され、医師会や歯科医師会、薬剤師会、福祉関係者、絵本の読み聞かせ団体、青年会議所、商工会議所女性部など約40名と県関係者が意見交換を行いました。ここでいただいた意見は、今後検討させていただくべき大変価値のあるものでした。ありがとうございました。

最後に、先般、皆さまへお配りした新庄病院カレンダーは、昨年暮れも押し迫った頃、ものの数週間で作り上げたものです。迅速な企画と、たった2日しか取れなかった撮影期間で職員皆が協力してくれた結果です。「和衷協同」、これが新庄病院の持ち味だと思っております。どうぞお使いください。

第6回  
11/7

## 「医療連携懇談会」を開催

平成29年11月7日（火）に、地域医療連携の推進強化に向けて、新庄市最上郡医師会と共催で「医療連携懇談会」を開催しました。毎年開催し今年で6回目となりました。

地域の医療機関や歯科医の先生方、最上総合支庁及び当院の職員など多数参加し、新庄病院八戸院長並びに新庄市最上郡医師会三條会長のあいさつの後、今年度当院に新たに赴任した医師からの自己紹介をはじめ、参加された地域医療機関の紹介など、顔の見える連携づくりの機会となりました。

また、当院の山口事務局長が移転新築に向けた方向性等について説明し、「新庄病院改築整備基本計画について」フリーディスカッションを行いました。参加者の皆さんから、口腔ケア関連、救急外来や夜間診療所についてなど多くのご意見をいただき、充実したディスカッションとなりました。

この懇談会は今後も継続して開催し、医療連携の推進強化に取り組んでまいりたいと考えております。お忙しいところご参加いただいた皆様にあらためて御礼申し上げます。





## 糖尿病看護認定看護師の紹介

このたび糖尿病看護認定看護師の認定を受けました加藤と申します。平成20年4月に内科外来へ配属となり、糖尿病教室や糖尿病に関する看護研究に携わる機会を通し、糖尿病に対する関心や患者さんのお役に立ちたいという思いから、糖尿病看護認定看護師の認定を志すきっかけとなりました。

医療スタッフが、専門的な知識を学び患者さんに関わることは、知識を伝えるということだけではなく、生活状況をお聞きしながら共に療養行動の振り返りができるため、患者さんの療養の励みにつながると思います。

内科外来では、妊娠糖尿病、糖尿病腎症、高齢者糖尿病、足トラブルのハイリスクな患者さんに関わる機会が増えています。高齢な患者さんの場合、透析療法を受け入れられない、インスリン注射の使い方が急に分からなくなった、インスリン注射導入に困惑するなどといった場面もあり、家族の協力や社会資源を得ながら支援をしています。日々、糖尿病看護の大切さや難しさを感じています。

これからも、患者さんが私たちスタッフへ病気や治療への思いを話してくれる関係づくりに心がけ、治療を継続していけるようお手伝いをさせていただきます。



加藤主任看護師  
【内科外来】

## 糖尿病看護研修会開催

10月11日(水)に、糖尿病に関する研修会を開催し、54名の職員が参加しました。参加された一部の方には、療養行動のひとつである血糖自己測定の実験を行っていただきました。開催後のアンケートでは、糖尿病看護への関心や、糖尿病認定看護師の今後の活動への期待が感じられました。今後も、研修会の内容について分かりやすくお伝えすることを心がけて、糖尿病患者さんの理解が深まるような取り組みを行っていきたくと考えております。



## がん看護研修開催



当院では、看護職のがん看護の専門性向上を目的とし、平成22年度より『がん看護研修』を開催しています。研修は1日講義を半年間で4回行い、すべて受講した方には病院長より修了証が交付されます。

今年度は、当院看護師4名と地域医療機関(最上町立最上病院、町立真室川病院)の看護師3名が受講しました。がん看護の専門性を学び知識を深め、患者さんやご家族への支援、スタッフ教育などに活かしていただければと思います。来年度も開催予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。



## 地域の医療機関紹介 - 佐藤医院（鮭川村） -

### 「佐藤医院」の紹介 佐藤 一賢

佐藤医院は、昭和20年代に祖父礼三が当時無医村であった鮭川村に開業し、以後鮭川村唯一の医療機関として診療に取り組んでおります。昭和52年に父匡良が祖父から継ぎ、外来診療及び通院困難な患者様の往診などを精力的に行うなどして、これまで鮭川村の医療を守ってきました。父の体力的な衰えもあり、平成27年4月から、3代目として小生が中心になって業務を行っています。



診療は午前8時30分から主に午前中を中心に、月曜から土曜日まで外来診療を行っております。小さな子供、就学中の方、具合の悪い方は診療を優先的に行っています。当院での診療や検査に予約の必要はありませんが、ワクチン接種の日程などで事前に電話連絡をいただいている場合があります。検査は、尿・血液検査、レントゲン、心電図、超音波などが可能ですが、それ以外の検査については、希望や必要に応じて新庄・最上地区の医療機関と連携して紹介対応しています。特に新庄病院には、CTやMRI検査予約、専門外来のFax予約、緊急時の対応及び入院をお願いするなど密接に連携し、患者様やご家族の待ち時間等が負担にならないよう心がけています。午後は老人ホームの往診や学校検診、教育講演などを引き受け、さらに新庄病院での透析診療も行っています。

診療内容は内科一般及び腎疾患が中心で、生活習慣病の予防や対策に取り組んでいます。内科的疾患以外でも、小児科疾患、皮膚疾患、軽度の外傷などにも対応できるようにしています。

また、鮭川村地域包括支援センターと連携し、生活習慣病の市民講座や保健師への助言、隣接施設の保健センターでの健康増進行事への協力なども行なっています。

特別養護老人施設のひめゆり荘の嘱託医であり、週1回の往診及び緊急時電話対応を行っています。ひめゆり荘では積極的な看取り対応をとっており、高齢な方が安らかな最期を迎えられるようにスタッフと協力して取り組んでいます。



また、村内小中学の学校医にも任命され、子供からお年寄りまでの健康維持に携わっています。

当院スタッフは少人数ですが、働き盛りの40代が中心です。誰でも気兼ねなく受診、健康相談ができるようなクリニックを目指し、アットホームな雰囲気を作っていきたいと思えます。

### <かかりつけ医と新庄・最上地区透析医療との両立>

透析患者さんは、全国的に年々増加傾向で、32万人を超え約400人に一人が透析患者という現状です。その原因は、糖尿病や高血圧が約半数を占め、生活習慣病の対策が重要であると考えられています。新庄・最上地区も例外ではなく、年間約30人の新規透析導入者がおり、その4割が糖尿病です。

一方で、日本の透析医療は世界最高水準であり、不幸にも透析を受けなければならなくなっても長生きするようになってきました。透析患者さんは、動脈硬化の進行が速く免疫力が低下するため、心疾患や脳卒中、感染症の予防・対策を行って安定した透析生活を送れるようにしなければなりません。腎臓内科としての役割は、これ以上透析患者さんを増やさないため慢性腎臓病の予防及び治療に取り組み、さらに透析患者さんの合併症治療対策を行うという2つの方針があります。

新庄・最上地区では、医師不足が深刻な状況であり、腎臓内科および透析専門医は小生一人という現状です。かかりつけ医としての役割を果たすとともに、新庄病院と連携し透析医療との両立を続けていきたいと考えております。



## 投稿募集中！

「んだじゅ通信」では、地域の医療機関や福祉施設等からの投稿を募集しております。

日頃の取組み、施設情報、お知らせしたいこと等ありましたら、新庄病院地域医療部までご連絡ください。発行は、年3回程度を予定しております。





# 新庄病院活動記録

## 10/4 接遇研修会開催 ～接遇・コミュニケーションマナー～

より良い対応の仕方、的確な伝え方をテーマに、隣席の人と実技体験形式で行われ非常にわかりやすい研修会でした。



## 11/11 第12回新庄病院災害対策総合訓練実施

約130人の職員が参加し、平日の午前9時に大地震が発生した想定で災害訓練を実施しました。今回は、診療エリアにベッドコントロール機能を持つ本部を設けるなど体制を工夫して行い、また、最上広域市町村圏事務組合消防本部の協力を得て、エアストレッチャー等を利用した患者搬送訓練も実施しました。訓練で明らかになった課題等については、マニュアルや事業継続計画(BCP)の見直しを行い、次回の訓練に活かしていきたいと考えています。



## 11/15 「最上の地域医療を考える住民のつどい」にて講演

当院の石山副院長が「乳がんの現状～治療と予防について～」講演しました。「がん患者さんへのサポート」をテーマとしたシンポジウムでは、庄司がん化学療法認定看護師と渡辺がん相談員が当院の取り組み状況について報告しました。



## 11/17 「がん患者サロン」開催 ～お話会 和小物作り体験～

がん患者さんやご家族の方々が語り合い交流できる場として開催しており、今回は和の小物作りをしながらのお話会となりました。

〔次回開催日・テーマ〕  
3/1(木)「がん治療中の食事の工夫」です。  
参加は無料です。



## 11/30 最上地域におけるリハビリテーション連携に関する勉強会参加

在宅・施設における口腔ケアの重要性や、地域・施設におけるリハビリテーション連携の課題等についての意見交換、当院包括ケア病棟の見学などが行われ、地域の連携強化につながる勉強会でした。



## 7～11月 派遣型救急ワークステーション設置および救急救命士の再教育実習実施

7月に、最上広域市町村圏事務組合消防本部から派遣された救急隊・救急車が待機し、消防本部からの指令を受けて現場に直接出動する「派遣型救急ワークステーション」を院内に設置しました。救急患者の初期対応・搬送・院内における処置等の一連の流れを実地に研修する救急救命士の再教育も兼ねています。7～11月の間、20人が派遣され約70回の救急出動を通して技能向上に取り組みました。



## 12/25 2018新庄病院カレンダー作成

当院の取り組みについて多くの皆さんに知っていただくとともに、地域連携の一層強化のため、『チーム医療』をテーマにカレンダーを作成しました。院内掲示のほか、地域の医療機関・介護施設等に配布させていただきました。





# シリーズ★栄養レシピ

## 病院食の紹介③

— 栄養管理室 —

### バランスのよい“エネルギーコントロール食”

今年度の“シリーズ栄養レシピ”では、当院に入院されている患者さんへ提供しているお食事を紹介しています。今回は「エネルギーコントロール食」です。これらの写真は、新庄病院のエネルギーコントロール食の一例です。糖尿病、脂質異常症、肥満症、肝炎などの方が適応となります。

ポイントとして、主食、主菜、副菜をそろえることを基本とし、エネルギーをできるだけ毎食均一にしています。これは、血糖コントロールなどに役立てるといふねらいがあるからです。

また、いわゆる“カロリー制限食”という、響きだけでおいしく食べられないようなイメージですが、別名“健康長寿食”であり、毎日の“普通の食事”でもあり、心とむ食事となるよう心がけています。

#### 朝食



ごはん みそ汁 温泉卵 なめたけおろし和え<455kcal>  
牛乳<134kcal>

#### 昼食



ごはん 清汁 魚のつけ焼き お浸し 酢のもの<412kcal>  
果物<35kcal>

#### 夕食



ごはん 豚肉の生姜焼き 大根炒り煮 中華和え<525kcal>  
果物<44kcal>



(左) 冷やし中華  
[副菜]煮物  
(下) 三色ごはん  
[副菜]和えもの  
サラダ

#### ポイント!

麺類やどんぶりもの  
のときは、野菜中心  
の副菜をとり入れる

ことで、一食あたりのエネルギーを抑えたままで満足感が得やすくなります。



「地域連携糖尿病教室」(<http://www.ysh.pref.yamagata.jp/section/community>)では、管理栄養士からエネルギーコントロール食の作り方など、さまざまな食事のポイントもお伝えしています。どうぞご利用ください。





# 新任医師の紹介

～ 皆様どうぞよろしくお願ひします ～



みやぢ たかひろ  
医師 宮地 隆浩

【整形外科】

10月1日採用

10月より山形大学医学部附属病院から異動して参りました整形外科の宮地隆浩と申します。最上地区に住むのはこれが初めてで、雪には十分注意しながら生活したいと思ひます。この地域の医療に少しでも貢献できるよう日々精進して参りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



さいとう あきこ  
医師 齊藤 彰子

【耳鼻咽喉科】

10月1日採用

これまで山形大学医学部附属病院、山形市立病院済生館で耳鼻科医として勤務してました。出身地は茨城県で、新庄最上地域に来るのは初めてです。耳鼻咽喉科診療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



研修医  
やまぐち りゅうへい  
山口 竜平

10月1日採用

山形大学医学部附属病院より参りました。大学では、救急科、麻酔科で研修を行ってきたので、病病連携、病診連携に触れる機会を当院で初めて経験しております。入院中の治療だけでなく、その先どうしていくのかという点を勉強させていただいております。これからもよろしくお願ひいたします。



ふかせ みか  
医師 深瀬 実加

【産婦人科】  
産婦人科専門医

12月1日採用

2015年度に新庄病院に勤務し、2016、2017年と山形大学に戻っておりましたが、12月1日より再び新庄病院に参りました。今後は、周産期(産科)を専門とする予定でおります。最上地域の皆様が安心して分娩できるよう尽力してまいりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 外来診療のお知らせ



**受付時間** 午前8:30～午前11:30  
(予約のない方) 月～金曜日(祝日、1/3、12/29、12/31を除く)  
※診療日は科によって異なりますのでご確認ください。

### 健康保険証等の確認について

保険証、医療証等は、月に1回確認をさせていただきます。保険証の資格・住所等の変更があった場合は、必ずお申し出ください。

### 非紹介患者初診加算料について

当院では紹介状をお持ちの患者様を優先して診察しています。また、紹介状をお持ちでない方は非紹介患者初診加算料(初診にかかる費用)として「1,940円」を別途ご負担していただいております。

### 外来予約制について

当院では、下記の診療科は『原則予約制』となっております。予約されずに来院した場合、当日中に診察できない場合がございますので、患者さんは必ず事前に予約の申込みをお願いいたします。

対象診療科	外科、整形外科、皮膚科、眼科
予約方法	患者さんは、診察を希望する外来診療科に電話で直接お申し込みください。 (直接来院されての予約も可)
受付時間	月～金曜日の午後2時から午後4時までにお申し込みください。 (電話 0233-22-5525(代))